



2023年5月22日

各位

会社名 株式会社芝浦電子
 代表者名 代表取締役社長社長執行役員 葛西 晃
 (コード番号 6957 東証スタンダード市場)
 問合せ先 執行役員経営管理部長 星ノ谷 行秀
 電話番号 048-615-4000

中期経営計画（2023年度～2025年度）策定のお知らせ

当社は、「われわれは、地球環境を守り、世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と文化の発展に貢献する」という企業目的のもと、継続的な企業価値の向上を目指しています。

経営環境の変化に柔軟に対応するため、ローリング方式で毎年中期経営計画を策定しています。

昨年策定した「中期経営計画 Sense the Dynamics 2022-2024」を更新し、2023年5月22日開催の取締役会において「中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025」を策定、決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

<中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025 の概要>

1. 中期経営計画方針

- (1) 品質・生産性向上
- (2) 製品開発・マーケティング
- (3) 人財育成・ガバナンス強化

2. 事業分野

	注力する用途・品目
ホームアプライアンス	省エネ家電（エアコン、電子レンジ、温水洗浄便座等）
オートモーティブ	環境対応車（EV車、HV車、PHV車・FCV車）
インダストリアル	再生可能エネルギー発電、産業用ロボット、新規分野等

3. 財務目標

成長の持続性、収益力強化、資産効率を重視した経営を目指し、売上高、営業利益額、売上高営業利益率、自己資本当期純利益率（ROE）を財務目標とします。

	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	33,500百万円	37,000百万円	41,000百万円
営業利益額	5,500百万円	6,500百万円	7,600百万円
売上高営業利益率	16.4%	17.5%	18.5%
ROE	12.0%	13.0%	14.0%

※2023年度以降の前提為替レート

1USドル=123円 1中国元=18.5円 1タイバーツ=3.55円 1香港ドル=15.5円

1ユーロ=134円 1韓国ウォン=0.096円

4. 設備投資・配当方針

- (1) 設備投資 事業拡大のために積極的な設備投資を継続します
 - ・ タイ芝浦電子 アユタヤ工場 再稼働
 - ・ 福島芝浦電子 松川工場 第2号棟増設
- (2) 配当方針 株主還元を経営の重要課題と位置付け、さらなる株主利益向上に注力します
配当性向や自己資本配当率（D O E）、自己資本比率などを元に総合的に判断します

5. サステナビリティ経営

- (1) 女性活躍推進のための活動
 - ・ 育児との両立支援
 - ・ 女性取締役による座談会実施
- (2) 人的資本投資
 - ・ 従業員持株会向け譲渡制限付株式の割当
- (3) 二酸化炭素排出量削減
 - ・ 2022年は2021年比二酸化炭素排出量を35%削減
 - ・ タイ芝浦電子 シンブリ工場 太陽光パネル導入予定

以 上

株式
会社

芝浦電子

スタンダード市場：6957

中期経営計画

Sense the Dynamics 2023-2025

2023年5月22日

目次

項目	ページ
1. 中期経営計画 Sense the Dynamics 2022年度の振り返り	3
2. 中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025	6
3. サステナビリティ経営	23
4. 参考資料	29

01

中期経営計画 Sense the Dynamics 2022年度の振り返り

計画の達成状況 財務目標

- 2022年度は売上高は計画値を達成
- 営業利益額、売上高営業利益率、ROEは目標値を下回った

	2022年度 計画	2022年度 実績	差異
売上高	330億円	331.9億円	+1.9億円
営業利益額	60億円	54.6億円	-5.4億円
売上高営業利益率	18.2%	16.5%	-1.7ポイント
ROE	13%以上	12.7%	-0.3ポイント

※2022年度の為替レート

1USドル=131.62円 1中国元=19.5円 1タイバーツ=3.75円 1香港ドル=16.81円
1ユーロ=138.14円 1韓国ウォン=0.1019円

施策の実施状況

● 2022年度の重点施策と実施内容

	基本方針	重点施策	2022年度実施内容
1	品質・生産性向上	製造工程の効率化	<ul style="list-style-type: none">製造工程にIT技術の導入実施継続的な改善活動
		グローバル調達	<ul style="list-style-type: none">新規海外サプライヤーからの購入材料の現地調達の推進
		品質保証	<ul style="list-style-type: none">グローバル品質管理体制の構築
2	製品開発	製品開発方針	<ul style="list-style-type: none">小型・薄型・高耐圧製品の開発自動化設備の対応仕様を標準化した製品開発
		オートモーティブ推進	<ul style="list-style-type: none">HV・EVなど環境対応車への対応強化HV・EV生産に係る自動加工機の導入社員の多能化推進
3	人財育成 ガバナンス強化	人財育成 人的資本経営	<ul style="list-style-type: none">国内工場新人事制度導入役員研修制度の導入、幹部合宿の実施従業員持株会向け譲渡制限付株式導入
		ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none">女性社外取締役就任コーポレートガバナンスコード対応

02

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025の位置づけ

- 経営環境の変化に柔軟に対応するため、中期経営計画をローリング方式とし、毎年計画を見直します

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
前々回発表→	Sense the Dynamics 2021-2023					
前回発表→		Sense the Dynamics 2022-2024				
今回発表→			Sense the Dynamics 2023-2025			
来年発表→				Sense the Dynamics 2024-2026		

中期経営計画 概要

● 基本方針は前回プランを踏襲

中期経営計画 基本方針



品質・生産性向上



製品開発・
マーケティング



人財育成・
ガバナンス強化

事業分野



ホームアプライアンス



オートモーティブ



インダストリアル

外部環境

財務基盤・収益力

芝浦電子の強み

中期経営計画 Sense the Dynamics 2025年度 財務目標

- 高い収益性を維持しつつ、さらなる成長を目指します



売上高

410 億円

営業利益額

76 億円



売上高営業利益率

18.5 %



ROE

14 %

中期経営計画 Sense the Dynamicsを支える3つの基盤

外部環境

- 経済環境
 - 物価上昇
 - 金利引き上げ
- 地政学リスク
- 脱炭素化社会への移行
- 持続可能な社会への関心の高まり
- デジタル技術革新

当社の強み

- 広範囲にわたる高度な独自の技術力
- 材料から生産設備まで独自の開発力
- 世界最大級の生産能力
- お客様のニーズに対応
- 高い生産性

財務基盤・収益力 2022年度実績

- 連結自己資本 317億円
- 連結自己資本比率 77.5%
- 売上高営業利益率 16.5%
- 税引後営業利益+減価償却費 53.2億円

持続的な成長

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025年度 財務目標

中期経営計画 Sense the Dynamics

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 計画	2024年度 計画	2025年度 計画
売上高	306億円	332億円	335億円	370億円	410億円
営業利益額	56億円	55億円	55億円	65億円	76億円
売上高 営業利益率	18.2%	16.5%	16.4%	17.5%	18.5%
ROE	13.5%	12.7%	12%	13%	14%

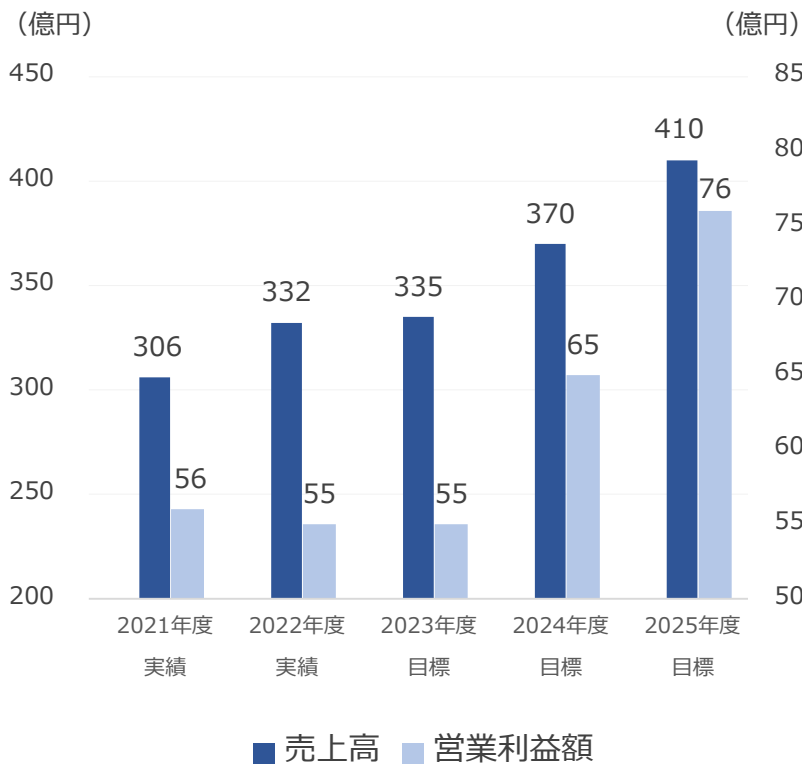
※2023年度以降の前提為替レート

1USドル=123円 1中国元=18.5円 1タイバーツ=3.55円 1香港ドル=15.5円

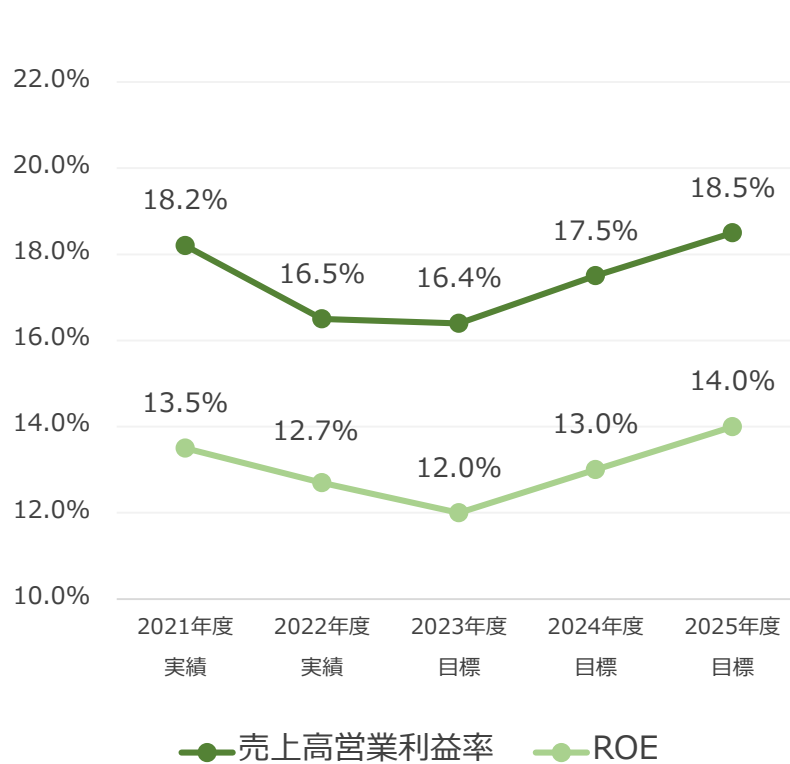
1ユーロ=134円 1韓国ウォン=0.096円

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025年度 財務目標

売上高・営業利益額



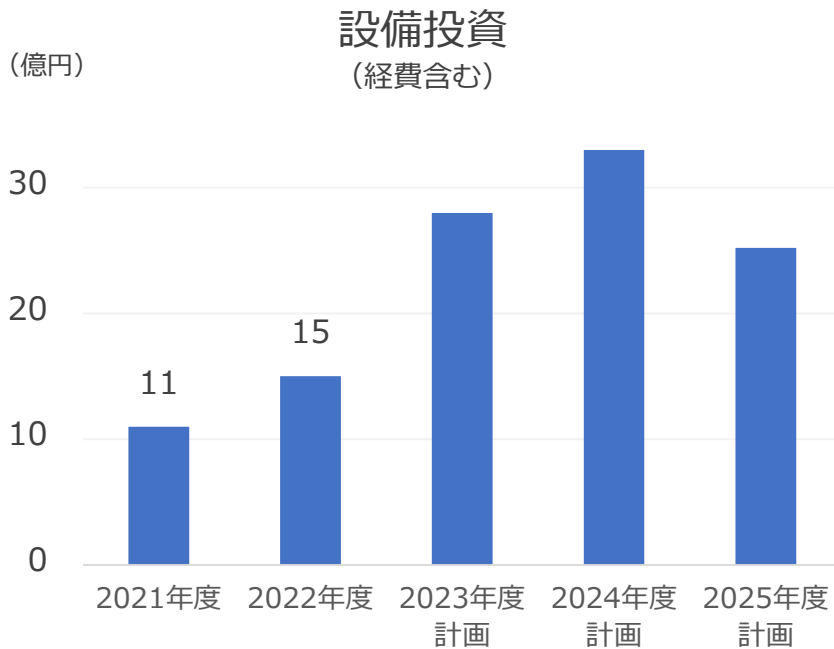
売上高営業利益率・ROE



設備投資と新製品開発費用の計画

設備投資（固定資産取得）

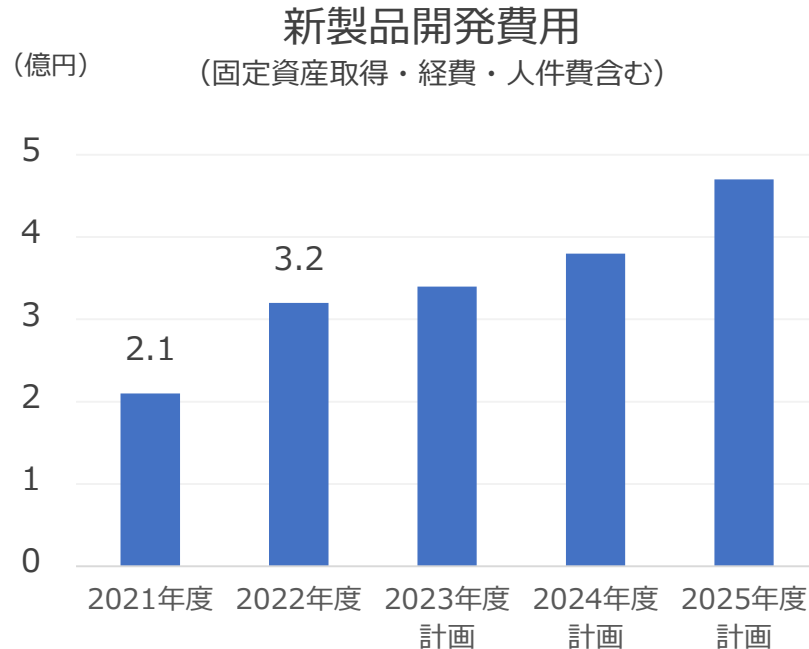
- 事業拡大のため積極的な設備投資を継続



➤ 2023年度より設備投資の計上方法を変更

新製品開発費用

- 新分野・新製品開発



➤ 2022年度より新製品開発費用の計上方法を変更

タイ アユタヤ工場 再稼働

● アユタヤ工場再稼働について

- 2011年の洪水被害以降操業を停止していたアユタヤ工場が、2023年2月に竣工・稼働開始いたしました
- 改修工事後の工場延床面積は7,000平方メートル（約16%増）となります



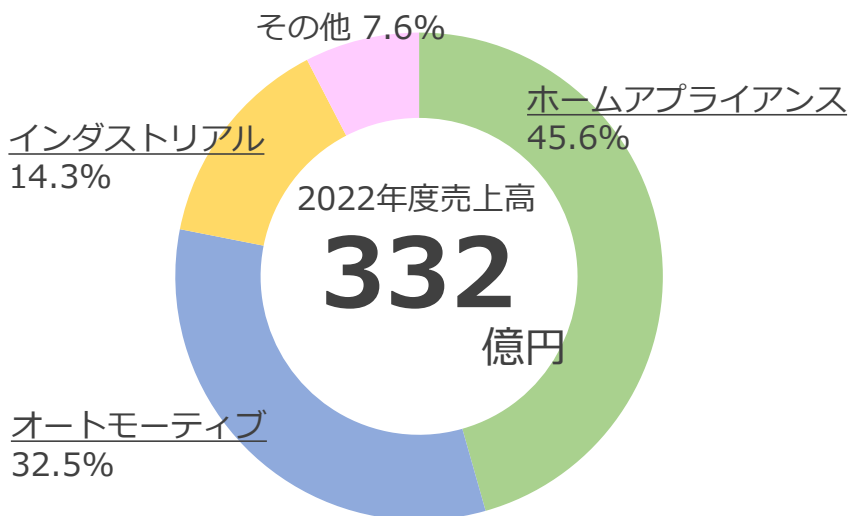
ロビー

● 福島芝浦電子 松川工場の第2号棟増設予定

- 生産能力増強のため、松川工場の敷地内に第2号棟を増設します
- 投資額 : 10億円程度
- 2024年2月着工予定
- 増設後の松川工場全体の延床面積は6,600平方メートルで、現在の延床面積の約2.2倍となります



事業分野



ホームアプライアンス

◆注力する用途・品目

▶ 省エネ家電

- エアコン
- 電子レンジ
- 温水洗浄便座等



オートモーティブ

◆注力する用途・品目

▶ 環境対応車

- EV車・HV車
- PHV車・FCV車



インダストリアル

◆注力する用途・品目

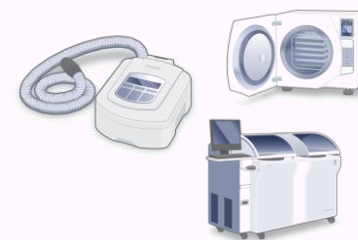
- 再生可能エネルギー発電
- 産業用ロボット
- 新規分野等



その他

◆注力する用途・品目

- 医療用等

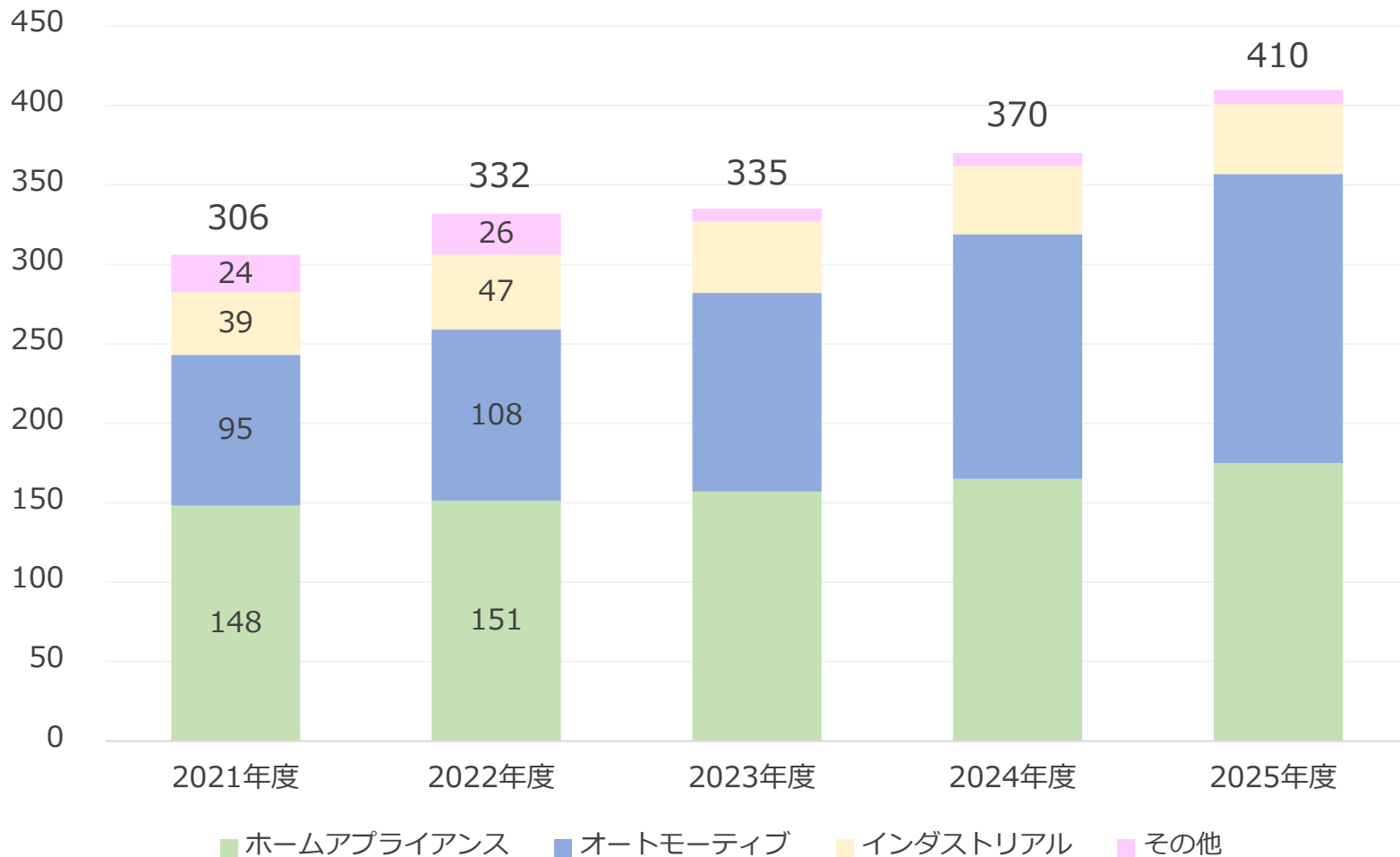


芝浦電子グループが製造しているサーミスタは、環境保全や省エネルギー化に大きく貢献しています



用途別売上高目標

(金額単位：億円)



※ 2023年度より「その他」項目を一部各用途に振り替え

基本方針 1. 品質・生産性向上

拡大するサーミスタの需要に応えるべく、
品質向上と生産性向上の両立を目指した取り組みを実行しています

製造工程の効率化

- 設備の配置、動線の見直し
- 工場シフトの多直化
- 改善活動や好事例の横展開
- AIやロボットを導入して自動化
- アルゴリズム内製化

グローバル調達

- リードタイムの短縮化
- 資材調達コストの削減
- 材料の現地調達の推進
- 環境に配慮した原材料の調達

品質保証

- 安心・安全で高品質な製品の提供
- グローバル品質管理体制の確立
- 品質マネジメントの可視化
- サプライヤーに対する、品質、安全性、工場内の工程の確認

地道な改善活動により、生産性及び品質の向上を図ることで、持続的な産業の発展に貢献します

基本方針 2. 製品開発・マーケティング

製品開発方針

- 小型・薄型・高耐圧製品
- 小型大容量化の進む電動部品に「安全・安心・効率化」の提案
- 高温センサの新ニーズ開拓
- 計測温度域の広いワイドレンジ特性素子
- 自動化設備の対応
(テーピング、エンボスキャリアテープ)
- オートモーティブ推進
- モーター用センサ標準化推進

マーケティング

- ターゲット：
環境規制、エネルギー効率化に関わる分野、市場での拡大
- <国内>
- 電動車向け製品の拡大
 - 省エネ家電への搭載拡大
- <海外>
- 電動車向け製品の拡大
 - 新興EVメーカーへの提案採用
 - ヒートポンプ給湯・暖房製品の拡大
 - エアコンのインバータ化（米国）によるセンサ需要増加への対応
 - 自然エネルギー用製品の需要増加への対応
 - 新分野への取組み

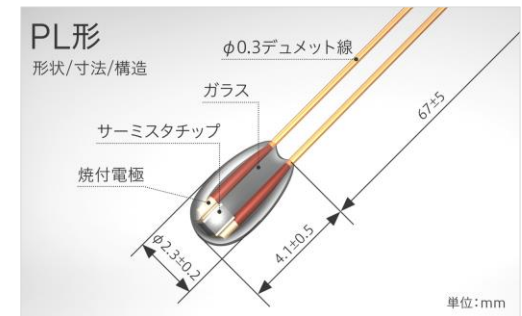
顧客ニーズに沿った独自設計

- 開発段階から、使用環境や温度域などについての打ち合わせを重ね、課題を解決しながら、ニーズにあった製品を製造しています



● 芝浦電子独自のサーミスタ特性

- サーミスタの使用温度範囲が「**-30°C~+300°C**」と表記されていても、抵抗レンジの問題で全温度範囲を1本のサーミスタで制御する事は難しく、温度域ごとに複数本のサーミスタを切替ながら制御を実行することが一般的です
- 芝浦電子は温度範囲全てを1本のサーミスタで制御できるワイドレンジ特性を持ったPL-312形を標準仕様として製造しています
- このPL-312形の心臓部であるサーミスタチップは、**世界で唯一1,000°C耐熱**を達成している製品と同じ、高温耐久性に極めて優れたものを使用しています



高温度範囲を1本で制御できる利点と耐久性が評価され、EV車・HV車・PHV車用のモーター温度制御向けの使用が急拡大

● 電動車用 角形FCセンサ ラインナップ拡大

電動車用角形FC
センサ標準品

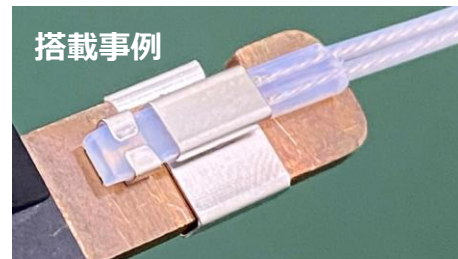


クリップ追加 (モーターコイル用)

センサ形状



搭載事例

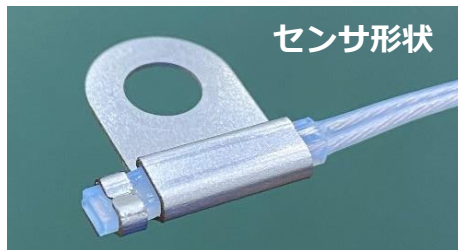


お客様のニーズに合わせた

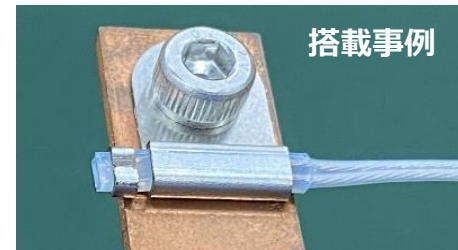
- ・ 取付提案
- ・ アセンブリ加工

ラグ端子追加 (電流遮断ユニット用)

センサ形状



搭載事例



基本方針 3. 人財育成・ガバナンス強化

人財育成

人事制度改革でチャレンジを喚起する仕組みや、自発的な取組みを促進する制度の導入に加えて、長く働きやすい制度を整備することにより、社員のエンゲージメントを高めます

- 人事制度改革の推進
- 新人事制度の国内工場展開
- 多様な働き方への対応

ガバナンス強化

経済環境変化に迅速に対応できる経営管理体制の強化、経営の透明性向上の為、継続的にコーポレートガバナンスの強化に努めます
また、TCFDの趣旨に賛同し、推奨されている体制の整備と気候関連情報開示に取り組めます

- コーポレートガバナンスの強化
- 取締役会実効性評価
- 気候変動への取り組み
- コンプライアンスの徹底

全ての事業活動において、性別、人種、国籍などに関する差別を行わず、あらゆるハラスメントを防止し、すべての従業員が働きやすい環境を整えます



03

サステナビリティ経営



女性活躍推進のための活動

- **ダイバーシティをさらに強化するために、男性、女性に限らず、全社員が活躍できる職場づくりを推進します**

育児との両立支援制度

- 短時間勤務
小学校3年生の始期に達するまでの子を持つ社員は、育児短時間勤務が可能
- 出産・育児に関する面談制度
復帰時に本人・上長・総務人事部での面談を実施
- 男性育児休暇取得の推進

女性取締役による座談会実施

- 女性役員と全女性社員との座談会を開催
- 女性役員の経験やアドバイスを聞き、働く女性のキャリアの悩みや、仕事と家庭生活の両立についてなどの意見交換を行いました
- 女性が今後のキャリアを考えるきっかけ、及び参加者同士の横のつながりが生まれる機会を提供しています

育児との両立支援制度の導入により、仕事と家庭の両立しやすい職場環境づくりを推進します
また、女性を含む多様な人財の活躍に向けて、女性取締役による座談会を実施しています



従業員持株会向け 譲渡制限付株式の割当

- **人的資本投資の一環として、従業員持株会向けに譲渡制限付株式の割当を実施**

- 2023年3月3日の創立70周年を記念し、芝浦電子従業員持株会向けに譲渡制限付株式を1人につき70株を割り当てることを発表しました

対象者 : 社員、契約社員、嘱託社員等（約1,100名）

一人当たり割当株数 : 70株

割当先 : 芝浦電子 従業員持株会

持株会への割当予定日 : 2023年6月29日

譲渡制限期間 : 5年（期日2028年7月1日）

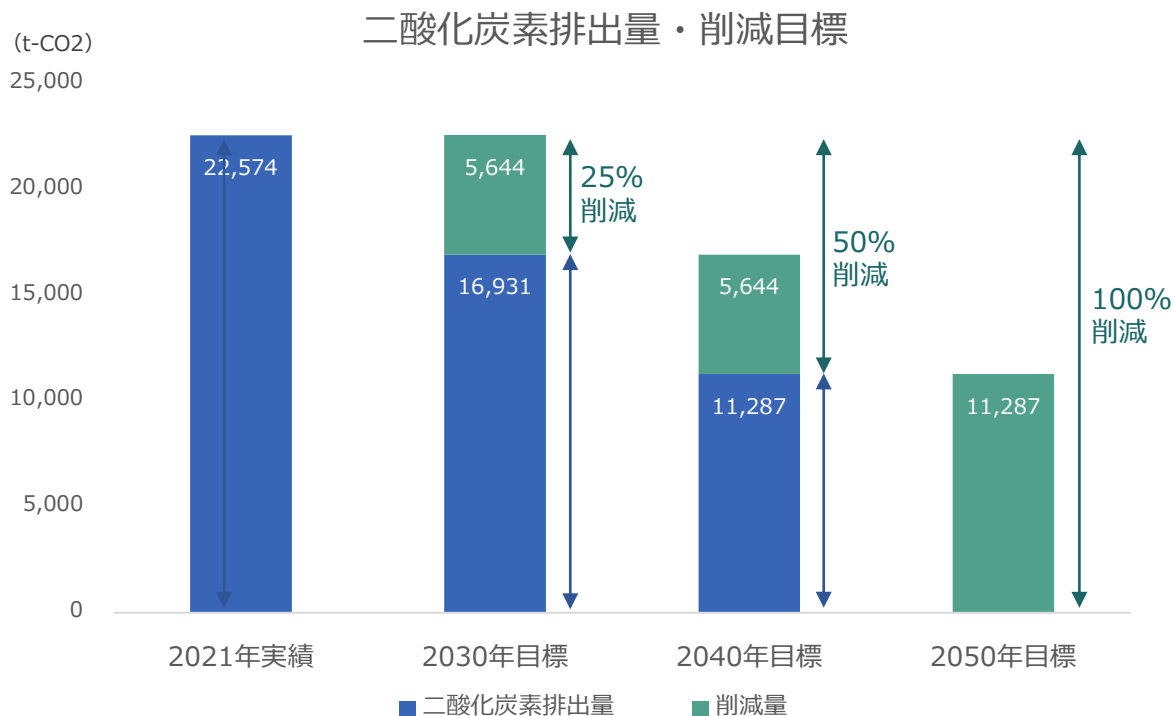
導入の目的 : 福利厚生を増進、資産形成の一助
企業価値向上へのインセンティブ



二酸化炭素排出量削減目標

2022年CO2排出量 **14,754 t-CO2** (スコープ1とスコープ2の合計)

- ・ 2030年に2021年比CO2排出量を**25%**削減
 - ・ 2040年に2021年比CO2排出量を**50%**削減
 - ・ 2050年に**カーボンニュートラル**を実現
- 2022年時点で**約35%削減**を達成



二酸化炭素排出量削減の施策

STEP 1 省エネ・再エネ

- ・ 福島芝浦電子で再生可能エネルギー電力を100%導入

STEP 2 創エネ

- ・ 太陽光発電設備等の導入 (海外子会社にて導入予定)
- ・ 蓄電設備の導入

タイ芝浦電子 太陽光パネル導入

● タイ芝浦電子 シンブリ工場にて太陽光パネルを導入予定

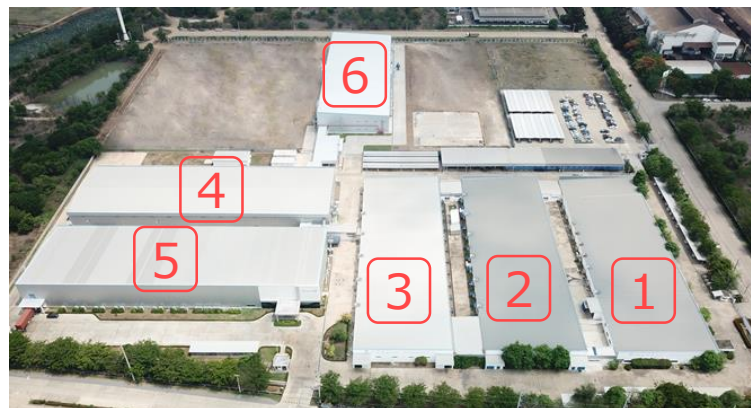
■ 導入目的

- 芝浦電子グループのカーボンニュートラルに向けた目標達成に向けて、太陽光パネルからの電力を使用することで、CO2排出量を削減します
- 価格が上昇している電気料金の削減にも寄与します

■ 導入スケジュール

1年目	2年目	3年目
4号棟・5号棟	3号棟・6号棟・2号棟	1号棟

- 投資額：約1.1億バーツ
- CO2削減量は約2,400tとなり、タイ芝浦電子の電気料金のうち約44%をカバー可能



An aerial photograph showing a two-lane asphalt road cutting through a vast green agricultural field. A line of lush green trees runs along the right side of the road, and a single white car is visible driving on the road. The overall scene is bright and vibrant, symbolizing nature and progress.

われわれは、地球環境を守り、
世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と
文化の発展に貢献することを目的とする

04

參考資料



会社概要

社名	:	株式会社芝浦電子
創業	:	1953年3月3日
本社	:	埼玉県さいたま市中央区上落合
代表者	:	代表取締役社長 葛西 晃
事業内容	:	サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した各種製品の製造販売 (温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計 等)
資本金	:	2,144百万円
売上高	:	332億円 (2022年度 / 連結)
経常利益	:	56億円 (2022年度 / 連結)
製造拠点	:	国内5拠点、海外3拠点 (タイ、中国)
販売拠点	:	国内3拠点、海外7拠点
従業員	:	4,834人 (2022年度 / 連結)
上場証券取引所	:	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード : 6957)
単元株式数	:	100株

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料に掲載されている将来の見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の過程を前提としています。
- ◆ 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません
- ◆ 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- ◆ 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp

 SHIBAURA

 株式会社 **芝浦電子**